



PLUS ULTRA

HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 令和8年9月30日発行



▲インターハイ走幅跳で優勝した石原南菜さん



▲全国大会に出場した選手たち▲



▲関東大会に出場した水泳部の選手たち



▲関東大会に出場した選手たち

令和8年

9/30

第73号

- 『自蔽他寛（じげんたかん）』な人になろう!! 学校長 大橋 芳樹 2ページ
- 令和9年度入試要項 3ページ
- 関東大会 4~5ページ
- アジア大会・全国大会 6ページ
- 全国大会 7~8ページ
- 白鷗トピックス 8~9ページ
- 白鷗祭 10ページ
- 白鷗大学だより 11ページ
- PTAだより・一日体験学習・他 12ページ



『自厳他寛(じげんたかん)』 な人になろう!!

白鷗大学足利高等学校長 大橋 芳樹



入学式での校長式辞

本校は大正四年（一九一五年）に創立された伝統ある学校です。その中で本校には『他人（ひと）にやさしく』というよい校風が、綿々と受け継がれてきました。しかし、最近の皆さんの様子を見ると、他人の気持ちをあまり考えずに自分勝手な行動を取ってしまう人もいます。

校外でもそのような行動をする生徒もいるようで、外部の方からの注意の声も耳にします。その中で多いのは、電車の乗車マナーに関するものです。大声で話す、座席を独占する、車内を動き回る、座席で飲食する、など。他人（ひと）から見れば、それらは「常識」で「やさしくない」行動です。皆さんは自分の普段の行動を振り返ってみて、そのような行動をしてしまったという心当たりはないでしょうか。



誓いの言葉
特1の1 伊澤晶子さん(白鷗中)

それでは、そうした行動をとる人は、なぜ「他人（ひと）にやさしい」行動がとれないのでしょうか。いろいろ考えていて、思い当たることがありました。それは、そうした行動をとる人というのは「他人（ひと）」に対してではなく「自分に対してやさしい」のではないかとことです。「これぐらいはいいか」「先生が見ていないからいいや」といった自分を甘やかし正当化するような「自分に対してやさしい」考え方が「他人（ひと）にやさしい」行動がでない原因なのです。

このような「自分に対してやさしい」考え方は学校生活の様々な場面でもみられます。例えば、提出物の期限が守れなかった時には「1日ぐらいはいいか」と自分を甘やかしていませんか。授業中に寝てしまい先生から注意を受けた時には「部活動で疲れているから」「寝ているのは自分だけではないのに」と自分の行為を正当化して

いませんか。

このように考えると、「他人（ひと）にやさしい」行動をとるためには、普段からある程度の「自分に対するきびしさ」が必要であることがわかります。普段の生活から、自分を甘やかし正当化するような「自分によさしい」考え方を排除すれば、他人（ひと）に迷惑がかかったり、いやな思いをさせたりする行動はなくなるはずです。本校のよい校風である「他人（ひと）にやさしく」という言葉の前には、実は「自分につきびしく」という言葉が隠されているのです。



合唱部による入学式での校歌紹介

そのようなことを考えていると私は、この『自分につきびしく、他人（ひと）にやさしく』という意味の四字熟語があることを思い出しました。あまり有名ではないよ



他人(ひと)にやさしく

うなので、生徒の皆さんは知らないかもしれませんが、『自厳他寛（じげんたかん）』という四字熟語です。『自厳他寛』という四字熟語は、文字どおり「自分には厳しく、他人には寛大に接する」という生き方や心構えを表しますが、『自厳』とは「自分の行動や感情を甘やかさず、節度と責任を持つて律する姿勢」、「他寛」とは、「他人の失敗や欠点に対して、責め立てず、受け止めて許そうとする姿勢」を示しています。だからといって、自分に対して厳しすぎて自分を精神的に追い込んだり、他人に対して寛容すぎて間違った行動まで許したりすることがあってはいけません。何事にも『いい塩梅』が大切なのです。『自厳他寛』という四字熟語の意味を正確に理解し、皆さんも『自厳他寛』な人になりましょう。

●入試相談会

本校舎会場

- 10月24日(土) 9:00~12:30
- 11月 3日(火) 9:00~12:30
- 11月28日(土) 9:00~12:30

白鷗大学会場

〈白鷗大学大行寺キャンパス〉

- 11月21日(土) 9:00~12:30

新校舎会場

- 11月 8日(日) 9:00~12:30
- 11月14日(土) 9:00~12:30

本校の入試担当が入試に関する質問にお答えします。

申し込み不要の相談会ですので、ご都合の良い日時においでください。
最終受付は終了時間の30分前となります。

令和9年度の入試要項が決まりました。なお、今年度も学校説明会・見学会、入試相談会を実施します。是非、ご参加ください。
本校では、新校舎の完成によりキャンパスが一体化されました。それに伴い、令和6年度より進路希望に合わせて学べる3コース+Sクラスが編成されました。また、令和8年度から制服も新しくなりました。

令和9年度

入試要項
入試相談会

令和9年度入試要項

	試験別	コース	試験日	試験教科	出願期間	合格発表
第1回入試	併願	学業特待生	令和9年 1月5日(火)	国・社・数・理・英	令和8年 11月20日(金) ~12月1日(火)	令和9年 1月12日(火)
		一般Ⅰ		国・数・英		
	単願	特別進学コース		国・社・数・理・英 面接		
		単願	令和9年 1月6日(水)	国・数・英 面接		
		部活動特待生		国・数・英 面接・実技		
第2回入試	併願	ランクアップ	令和9年 1月23日(土)	国・数・英	令和9年 1月13日(水)~17日(日)	令和9年 1月27日(水)
		一般Ⅱ				

●学校説明会・見学会

新校舎会場

- 10月10日(土)

申込み期間

8月28日(金)~10月5日(月)

- ・9:00~ 受付
- ・9:30~ 学校説明
- ・10:45~ 校内見学
- ・11:45 終了

◎学校や入試に関する説明後、実際に校舎や各施設を見学できます。

定員になり次第、受付を終了させていただきます。

定員
250名



〒326-0054 栃木県足利市伊勢南町3-2

活躍する部活動 関東大会 9部143名が出場

陸上競技部 北関東女子総合優勝



石原 南菜さん 100MH・走幅跳
鈴木 香凛さん 400MH
江田 朋未さん 円盤投
加藤 未来さん 七種競技

ボクシング部 学校対抗 女子優勝



須藤 大和さん 男子フライ級
本島 玲葵さん 男子ライト級
伊藤 瑠那さん 女子バンタム級
杉原 紅空さん 女子フェザー級
鍋木 結愛さん 女子ライト級

陸上競技部

◆北関東女子総合優勝 2連覇達成

6月12・15日、茨城県那珂市水戸信用金庫スタジアムにおいて関東高校陸上競技大会が行われました。本校からは、男子16名、女子15名の選手が参加しました。

男子は、総3の4高橋龍空さん（佐野北中）が激戦となった100mで第5位に入賞し、インターハイ出場を決めることができました。

女子は、総3の6石原南菜さん（足利二中）が100mハードルと走幅跳で優勝、進3の4鈴木香凛さん（若松原中）が400mハードルで優勝、総2の3江田朋未さん（桑中）が円盤投で優勝、総2の6加藤未来さん（若松原中）が七種競技で優勝しました。また、このほかにも多くの種目で上位入賞を果たしました。

その結果、学校対抗得点では北関東女子総合優勝を果たし、見事2連覇を達成することができました。応援ありがとうございました。



関東大会に出場した陸上競技部

ボクシング部

◆学校対抗の部 女子優勝、男子第6位！

5月29日・6月1日に茨城県城里町常北公民館で開催された関東高等学校ボクシング大会に、本校からは男子5名、女子4名が出場しました。

その結果、優勝5名を含む7名が入賞し、学校対抗では女子が優勝、男子が第6位に入賞することができました。今大会では、2年生以下の活躍が目立ち、チーム全体の層の厚さと今後の更なる成長を感じさせる大会となりました。入賞できなかった選手も健闘しました。入賞者は次の通りです。



関東大会に出場したボクシング部

男子フライ級 優勝
総2の1 須藤 大和さん（都賀中）
男子ライト級 優勝
総2の6 本島 玲葵さん（赤堀中）
女子バンタム級 優勝
総2の4 伊藤 瑠那さん（会津若松）
女子フェザー級 優勝
総1の2 杉原 紅空さん（横浜港中）
女子ライト級 優勝
総3の5 鍋木 結愛さん（生品中）
女子バンタム級 第2位
総3の6 竹部 志保さん（綿打中）
男子バンタム級 第3位
総3の6 坂田 俊さん（総和南中）

柔道部

34年ぶりの準優勝

柔道部は6月6・7日に埼玉県リプロ武道館で行われた関東大会に出場しました。

初戦で武蔵野（東京都）、2回戦の武南（埼玉県）とともに4-0の快勝でスタートし、勝負所の3回戦では、修徳（東京都）に次鋒・総2の5君島光輝さん（総和中）の合わせ技一本勝ちで1-1の内容差で勝利。ベスト8に進出しました。続く2日目、強豪足立学園（東京都）戦では、ビハインドを受けて登場した大将・進3の1藤崎快晴さん（足利一中）の技あり勝ちで逆転勝利を収めました。準決勝戦では、埼玉栄（埼玉県）に前半3人終えて0-0の均衡を、副将・進3の2青木崇之介さん（八戸三中）が大内刈有効で破り、1-0で34年ぶりの決勝戦へ進出しました。決勝戦は東海大相模（神奈川県）に0-3と敗れましたが、夏に向けて大きな収穫を得



関東大会準優勝の柔道部

水泳部

一泳入魂

た大会となりました。応援ありがとうございました。

7月18・20日、横浜国際プールにて、第77回関東高等学校水泳競技大会が開催されました。本校からは21名が出場し、全力を尽くしました。選手たちの最後まで諦めない姿に成長を感じた大会となりました。

応援ありがとうございました。



関東大会に出場した水泳部

【入賞しインターハイに出場する選手】
男子200mバタフライ 第7位
総3の2 川島 大歩さん（佐野南中）
男子1000m平泳ぎ 第7位
総3の2 大貫 耀斗さん（東原中）
男子400mメドレーリレー 第6位
総3の6 大森 暖仁さん（桑中）
総3の2 大貫 耀斗さん（東原中）
総3の2 川島 大歩さん（佐野南中）
総3の4 溝口 舜大さん（佐野北中）
【標準記録を突破しインターハイに出場する選手】
男子1000mバタフライ
総3の2 川島 大歩さん（佐野南中）
男子500m自由形
総3の4 溝口 舜大さん（佐野北中）
男子800mフリーリレー
総3の2 川島 大歩さん（佐野南中）
総3の4 溝口 舜大さん（佐野北中）
総2の2 野本 和慎さん（館林三中）
進2の3 池田 粋斗さん（坂西中）

女子ソフトテニス部

◆渡邊佳穂さん・小井沼美優さん
ペアが個人戦で第5位入賞

5月29～31日、茨城県水戸市総合運動公園テニスコートにおいて、関東高校大会が行われました。

団体戦



関東大会に出場した女子ソフトテニス部

は、初戦となる2回戦で千葉県の昭和学院高校に1-2で敗退。7ペアが出場した個人戦では、総3の4渡邊佳穂さん（今市中）・総2の1小井沼美優さん（小山城南中）ペアが第5位入賞を果たしました。

応援ありがとうございました。

【団体戦・個人戦出場選手】

総3の3 蝶良 寧々さん（芳賀中）
総3の6 阿久津美優さん（芳賀中）
総2の6 三浦 夕依さん（錦ヶ丘中）
総3の6 福地奈津美さん（宮郷中）
総3の4 生井 結愛さん（黒磯中）
総2の6 戸田 葵唯さん（河内中）

【団体戦出場選手】

総1の2 手塚 咲希さん（松山中）
進1の3 鈴木いろはさん（古河一中）

【個人戦第5位入賞】

総3の4 渡邊 佳穂さん（今市中）
総2の1 小井沼美優さん（小山城南中）

【個人戦出場選手】

総2の1 加藤木亜美さん（結城東中）
総3の1 中山 莉緒さん（益子中）
総1の7 設楽 芽生さん（芳賀中）
総1の8 川添 達美さん（西郷一中）

サッカー部

関東大会出場

5月23日、茨城県鹿嶋市で開催された関東高等学校サッカー記念大会に出場しました。栃木県の前選大会で真岡高校と決勝を戦い、延長戦まで両者拮抗し、0-0で引き分けましたが、惜しくもPK戦を6-7で落とし、栃木県の第2位代表での出場となりました。

関東大会では「初戦突破」を目標に、茨城県第2位代表の東洋大学牛久高校と初戦を戦いました。自分たちの持ち味を十分に発揮し、ボールをつないで決定機を作る場面は何度もありましたが、相手に先制されて、2点ビハインドの展開になってしまいました。しかし、後半のアディショナルタイム、正



試合中の様子

確なコーナーキックに、総2の4富田麗音さん（大平中）が合わせて一矢報いることができました。結果は1-2での敗退となり、初

戦突破は叶いませんでしたが、実りある関東大会となりました。

剣道部

地元開催の関東大会に男女で出場

6月12～14日、地元栃木県の日環アリーナ栃木で開催された関東大会に出場しました。

団体戦は予選リーグ（3校）が行われ、男子団体戦は日大豊山（東京都）に勝利、東海大相模（神奈川県）に敗戦。三つ巴の末、勝者数1

差で及ばず、惜しくも予選敗退となりました。女子団体戦は、初戦の日比谷（東京都）に快勝しました。



関東大会に出場した剣道部

たが、次戦の市立船橋（千葉県）に惜敗しました。

女子個人戦には4名が出場し、進2の2中丸このはさん（壬生中）が躍進。準々決勝まで進みましたが延長戦の末に惜敗しました。地元開催の大会で、選手・運営ともに貴重な経験を積むことができました。今回の経験を糧に、さらなる成長を目指して練習に励んでいきます。

バドミントン部

関東大会出場

関東大会栃木県予選において第4位に入賞し、6月6・7日に東京都調布市で開催された関東大会に出場しました。

本校の前身である足利学園時代に昭和62・63年、平成元年の3年連続で出場して以来、女子団体戦では37年ぶり4回目の出場、また、白鷗足利としては初の関東大会出場となりました。

初戦では埼玉県代表の越谷東高校と対戦しました。初戦敗退という結果となりましたが、関東大会出場という新しい歴史を作ることができました。

この成果は、多くの方々がバド

体操部

更なる高みを目指して

6月5～7日、群馬県高崎アリーナで関東大会が開催されました。本校からは男子・女子団体戦、個人では女子1名が出場しました。本校の部員は半数以上が1年生であるにもかかわらず、関東大会という大きな舞台でも、その緊張感や雰囲気を楽しみながら、集中して演技をすることができました。

また、関東地区の体操競技は全国的にもレベルが高いため、大会

ミントン部を支えてくださったおかげです。この場を借りて、感謝申し上げます。



関東大会出場に合わせて保護者から寄贈していただいた部旗とともに

【団体戦出場選手】

進3の2 笠原 希愛さん（笠懸中）
総3の2 長 潤奈さん（足利北中）
総3の2 永田 りみさん（小山南中）
総3の4 佐々木萌結さん（毛野中）
総3の6 阿部 聖さん（足利三中）
特2の4 村野 優羽さん（敷塚本町中）
総2の1 松崎 星彩さん（太田城東中）
総2の6 松崎 笑彩さん（太田城東中）

を通して今後の目標となるような演技を見ることができ、多くの学びを得ることができました。



関東大会に出場した体操部

この経験を生かし、プルス・ウルトラの精神でさらに成長できるように部員一人一人が精進していきたいと思えます。

アジア選手権

陸上競技部の石原南菜さん

U20 100メートルハードル

ボクシング部の伊藤瑠那さん

U19 女子54キロ級

銀メダル！
第3位！

陸上競技部

石原南菜さんが銀メダル獲得

5月28～31日、香港においてU20アジア選手権が行われ、総3の6石原南菜さん（足利二中）が、日本代表として100メートルハードルに出場しました。



U20アジア選手権
銀メダル獲得の石原さん

結果、見事銀メダルを獲得し、

日本チームに貢献することができました。今回の遠征は日本代表として3回目の海外遠征となり、多くのことを学ぶ貴重な経験となりました。

今後、日本代表として数々の大会に出場できるように、頑張っていきたいと思います。応援ありがとうございました。

ボクシング部

国際大会2度目の第3位入賞

7月4～17日、U19アジア選手



U19アジア選手権
第3位の伊藤さん

躍を誓いました。
世界の強豪国相手に堂々と戦い抜き、見事第3位入賞を果たした伊藤さんの今後の活躍も期待してください。

全国大会

陸上競技部

石原さん日本選手権出場

6月12～14日、愛知県名古屋市のパロマ瑞穂スタジアムにおいて日本陸上競技選手権が行われました。日本最高峰の大会で、今年はアジア大会の日本代表を決める大会でした。

本校からは総3の6石原南菜さん（足利二中）が女子100メートルハードルに出場しました。オリンピック選手を含むシニア選手の中で、大きな経験を積むことができました。

今シーズンは、織田記念、布勢スプリントなどの日本グランプリシリーズにも、積極的に参加しています。シニア選手とのレースの中で、多くの経験を積むことができている。この経験を将来生かせるようにしていきたいと思っています。

◆インターハイ◆

石原南菜さんが走幅跳で優勝！

7月30～8月5日、滋賀県彦根市の平和堂H.A.T.Oスタジアム

でインターハイが開催されました。今大会は暑さ対策のため、競技が夕方から夜間にかけて実施される異例の日程となりました。

そのような中、本校の選手たちは全国の舞台で健闘し、石原南菜さんが走幅跳で優勝、100メートルハードルで第3位に入賞しました。

また、加藤未来さんが七種競技で第2位、江田朋未さんが円盤投で第7位に入賞するなど、優れた成績を収めました。

応援ありがとうございました。



インターハイに出場した陸上競技部

【出場選手】

女子
走幅跳 優勝 100メートルハードル 第3位
総3の6 石原 南菜さん（足利二中）
七種競技 第2位
総2の6 加藤 未来さん（若松原中）
円盤投 第7位 砲丸投 出場
総2の3 江田 朋未さん（桑中）
円盤投 砲丸投 出場
進3の3 諏訪 彩乃さん（中村中）
400メートルハードル 出場
進3の4 鈴木 香凛さん（若松原中）
4x100メートルリレー 出場
総2の6 加藤 未来さん（若松原中）
進3の4 鈴木 香凛さん（若松原中）
進2の2 坂本あおばさん（小山三中）
総3の5 小沼 彩愛さん（足利二中）
男子
100メートル 出場
総3の4 高橋 龍空さん（佐野北中）

軟式野球部

春の交流戦in甲子園
本校より2年連続出場

5月4日、第2回春の軟式交流試合in甲子園（日本高校野球連盟主催）が阪神甲子園球場で行われました。東日本・西日本の選抜選



阪神甲子園球場で
試合した阿部菜大さん

手25人による交流戦が実施され、本校からは進3の2阿部菜大さん（足利西中）が東日本代表として出場しました。試合や練習を通じて他校の選手と積極的にコミュニケーションを取り、日頃の部活動の課題や軟式野球をより盛にするためのアイデアを語り合いました。高校野球におけるフェアプレーの精神やスポーツマンシップの大切さを改めて確認する、貴重な機会となりました。



七種競技第2位の加藤さん（左）
円盤投第7位の江田さん

団体戦と個人戦で3名が出場

8月6～8日、和歌山県のビッグホールで行われたインターハイに出場しました。

初日の団体戦では、初戦の名張（三重）に5―0の完勝でスタートしましたが、続く2回戦で天理（奈良）に0―3で敗れました。

2日目の個人戦軽量級には、60キロ級で総2の3安村陸人さん（田島中）、73キロ級に総3の6西山千愛さん（野辺地中）が出場し、それぞれ1

勝しまし
たが、と
もに2回
戦敗退と
なりまし
た。

最終日の個人戦重量級81kg級に出場した進3の2青木崇之介さん（八戸三中）も、2回戦で優勝候補筆頭の相手に果敢に攻め、一時はリードする場面もありましたが、惜しくも敗れました。全国大会で勝ち上がることの難しさを改めて実感しました。応援ありがとうございました。



インターハイに



インターハイに出場した柔道部

女子団体として初出場

8月2～5日、奈良県奈良市の
ルートアリーナ奈良で開催された



女子団体として
初出場を果たした剣道部

全国高等学校剣道大会に女子団体として初出場しました。

予選リーグは、甲子園学院（兵庫県）と対戦し、総2の6浅利紗帆さん（壬生中）が1本勝ちを挙げたものの本数負けを喫しました。次戦は久御山（京都府）と対戦しましたが0－2で敗れ、悔しさの残る結果となりました。

全国選抜・本大会と創部初の団体戦での出場を果たし、3年生を中心によくまとまったチームとして、部員全員の成長を非常に感じることであった。

応援いただきました関係各位の皆様方には深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

一
泳
入
魂

8月13～16日で、滋賀県のイン
フロニア草津アクアティクスセン

ターにて、全国高等学校総合体育大会水泳競技大会第94回日本高等学校選手権水泳競技大会が開催され、本校からは6名が出場しました。悔いのないレースができるよう、日々練習を重ねて大会に臨みました。

その結果、最後までチーム一丸となつて戦ひ抜く中で、総3の2川島大歩さん（佐野南中）が20トバ・タフライでB決勝進出を果たすなど、それぞれが持てる力を発揮しました。今回の経験を生か

し、全国
で戦える
チームを
目指して、
仲間と切
磋琢磨し
ながら努
力を続け
ていきた
いと思い
ます。



インターハイに出場した水泳部

保護者の皆様をはじめ、たくさんの方、生徒の皆さん、応援ありがとうございました。



インターハイに出場した水泳部

女子個人として9年ぶりに

インターハイ出場

7月28日～8月1日、兵庫県神戸市のグリーンアリーナ神戸で開

催されたインターハイに、進一の4宮寺あいねさん(多々良中)が出場しました。体操部としては2年ぶり、女子個人としては9年ぶりの全国大会出場となりました。



女子個人に出場した

初めての全国大会で、出場選手の高い技術や独特の雰囲気、圧倒されながらも、精一杯の演技をすることができました。残念ながら予選を通過することはできませんでしたが、今回の経験を来年以降に生かし、高度な技に挑戦していくとともに、安定感のある美しい演技を目指してもらいたいと思います。

それぞれの想いを懸けた全国大会

8月4・10日、京都府立山城総合運動公園においてインターハイが開催され、本校から総3の6坂田俊さん（総和南中）、総3の5鐺木結愛さん（生品中）、総2の4伊藤瑠那さん（会津若松第四中）の3名が出場しました。

初出場の坂田さんは得意のジャブを軸に果敢に攻め、最後まで戦い抜きましたが、惜しくも判定負

けとなりました。

3年連続出場の鎬木さんは積極的な攻撃で相手にプレッシャーをかけ続け、白熱した試合を展開しましたが、2―3で惜しくも敗れました。

全国選抜大会で優勝し、追われる立場として臨んだ伊藤さんは、チャンピオンとしての重圧に加え相手からも徹底した対策を講じられるなど、思うように試合を運べず、悔しい敗戦となりました。

今大会の結果を真摯に受け止め
 ホクシング部一同更なる高みを目
 指して精進して参りますので、今
 後とも選手、部活動への変わらぬ
 ご支援をよろしくお願いします。
 大会結果は表の通りです。

男子バンタム級 出場

女子ライオン及び
ベヌー6

女子3の5 総3の5 鈴木 結愛さん (生品中)

女子バンタム級 第5位

総2の4 伊藤 瑠那さん
(会津若松市立第四中)



インターハイに出場した(左から)坂田俊さん、
 鍋木結愛さん、伊藤瑠那さん

女子ソフトテニス部

団体戦で第5位入賞

7月31～8月3日、京都府福知山市三段池科研電機テニスコートにおいてインターハイが開催され、個人戦5ペアと団体戦に出場しました。

団体戦では、初戦で札幌大谷高校（北海道）を破り、3回戦で強豪の羽黒高校（山形県）と対戦しました。1対1からの3番勝負では、総1の2手塚咲希さん（松山中）・総3の6福地奈津美さん（宮郷中）ペアが熱戦を繰り広げ、手塚さんが熱中症の症状に見舞われるアクシデントを乗り越えてファイナルゲームを逆転で制し、第5位入賞を果たしました。応援ありがとうございました。



団体戦第5位入賞の女子ソフトテニス部

【団体戦 第5位入賞・個人戦出場選手】

総3の3 螺良 寧々さん（芳賀中）
総3の6 阿久津美優さん（芳賀中）
総1の2 手塚 咲希さん（松山中）
総3の6 福地奈津美さん（宮郷中）
総2の6 三浦 夕依さん（錦ヶ丘中）
総3の4 生井 結愛さん（黒磯中）
総1の5 今井弥南璃さん（赤堀中）

【団体戦 第5位入賞】

総3の4 渡邊 佳穂さん（今市中）

【個人戦出場選手】

総2の6 戸田 葵唯さん（河内中）
総1の4 中原 夕芽さん（古河一中）
進1の3 鈴木いるはさん（古河一中）

ハイスクールジャパンカップ

螺良さんがシングルスで第3位入賞

6月26～28日、北海道札幌市円山庭球場において、ハイスクールジャパンカップソフトテニス20



シングルス第3位の螺良寧々さん

第50回全国高等学校総合文化祭

バドミントンワリング部

あきた総文祭2026（2026）会場

バドミントンワリング部は、第50回全国高等学校総合文化祭（あきた総文2026）に出場しました。

パレード部門では、秋田市千秋公園横の広小路を、バトンやポンポンの演技を披露しながら行進しました。沿道の方々に笑顔をお届けようと演技しましたが、温かい拍手や声援をいただき、私たちも元気をもらうことができました。

バドミントンワリング部門は、秋田県立武道館で開催されました。今年の曲は、【カントリー・ロード】

26が開催され、栃木県代表として本校から総3の3螺良寧々さん（芳賀中）と総3の6阿久津美優さん（芳賀中）が出場しました。

シングルスに出場した螺良さんは、ミスの少ないストロークと多彩なショットを武器に順調に勝ち上がり、準決勝に進出しました。

準決勝では香川県の選手を相手にマッチポイントまで追い詰めるも勝ち切れませんでした。昨年のベスト16を超える堂々の第3位入賞となりました。

ダブルスに出場した螺良さん・阿久津さんペアは予選リーグで敗退しましたが、全国の舞台で戦えたことは良い経験となりました。

輝く稲穂に想いをこめ、お疲れさん。美の国秋田に今集え

私たちがこれから歩んでいく未来へと続く長い道のりへの決意や不安、希望を表現しました。



あきた総文に出場したバドミントンワリング部の選手たち

県内4校合同での演技を創り上げるには苦難もありましたが、学校を超えたチームワークを発揮し、演技をすることができました。

☆出場メンバー

進3の3 本間 美咲さん（毛野中）
進3の4 根岸 美羽さん（宮桑中）
進2の3 小林瑠結奈さん（宮桑中）
総2の3 近藤 心音さん（山辺中）

総合進学2学年 進路ガイダンス

7月14日、総合進学コースの2年生が、進路学習の一環として宇都宮市のマロニエプラザで開催された「マイナビ進学ライブ」に参加しました。大学や専門学校の担当者から、学びの特色や入試に向けた心構えについて直接説明を受け、生徒たちは真剣な表情で耳を傾けていました。



マイナビ進学ライブの様子

事前ガイダンスで当日の予定を立てて臨んだため、有意義な一日になったようです。「もっと情報を集めて自分に合った進路を見つけた」という声も聞かれ、進路に対する意識が一層高まる貴重な機会となりました。

各種講演会

7月に実施された講習会や講演会は以下の通りです。

○応急手当講習会

7月2日、足利中央消防署より澤田純臣氏を講師に迎え、2学年



応急手当講習の様子

を対象にした応急手当講習会が実施されました。心肺蘇生法を学び、グループごとに胸骨圧迫を実践するという内容で、生徒たちは積極的に参加していました。

○交通講話

7月7日、足利警察署から戸塚渉氏を講師に迎え、全校生徒を対象にした交通講話を行いました。交通事故防止のための交通ルールや、関連する法令に対する理解を深めることが目的です。また4月から始まった「青切符」による取り締まりについての話や、警察官を名乗る人物がその場で罰金を徴収する「青切符詐欺」についての話を伺いました。

○性教育講演会

7月9日、浅岡産婦人科医院院長浅岡健太郎氏を講師に迎え、1学年を対象に実施しました。夏休みは様々な誘惑とともに、気持ちが開放的になる時期でもあります。誤った知識や情報が重大な問題を引き起こすことの危険性を学びました。

白鷗トピックス



新入生歓迎球技大会

5月22日、新入生歓迎球技大会が開催されました。今年度は、校庭でドッジボール、シーガル体育館・マルベリー体育館・新体育館の3会場でソフトバレーボール、柔道場でモ



ディスクゴルフの様子

ルック、新校舎の人工芝グラウンドでディスクゴルフ、卓球場と剣

道場の2会場で卓球を実施しました。生徒たちはクラスごとに出場種目を決め、チーム編成や作戦を考えながら試合に臨みました。どの競技も予選リーグから決勝トーナメントまで熱戦が繰り広げられ、会場には大きな歓声が響いていました。

ディスクゴルフでは、競技開始前に足利市ディスクゴルフ協会によるフライングディスクの贈呈式を行いました。生徒たちはチームで協力しながらゴールを目指し、最後まで一所懸命取り組む様子が見られました。

令和8年度 球技大会結果

◆男子ドッジボール

優勝 進学コース 2年1組
2位 総合進学コース 1年4組
3位 総合進学コース 1年8組
3位 特別進学コース 3年2組

◆女子ドッジボール

優勝 総合進学コース 2年6組
2位 進学コース 1年2組
3位 進学コース 1年3組
3位 進学コース 3年3組

◆ソフトバレーボール

優勝 進学コース 3年3組
2位 進学コース 3年4組
3位 総合進学コース 2年1組B
3位 進学コース 2年4組

◆卓球

優勝 総合進学コース 3年1組
2位 進学コース 2年4組
3位 特別進学コース 2年4組
3位 進学コース 3年1組

◆モルック

優勝 総合進学コース 3年6組
2位 総合進学コース 3年3組
3位 総合進学コース 2年1組A
3位 進学コース 2年4組

◆ディスクゴルフ

優勝 進学コース 2年2組
2位 総合進学コース 3年6組B
3位 進学コース 3年4組B
4位 進学コース 2年3組



熱戦のソフトバレーボール

結果は、6部門中3部門を3年生、残る3部門を2年生が制し、上級生らしい活躍を見せてくれました。1年生も優勝こそ逃したものの、入賞を果たしたクラスがあり、多くの場面で健闘する姿が見られました。

球技大会

を通して、生徒たちは仲間と協力することの大切さを改めて感じる



卓球の試合のひとつ

ことができました。この経験が、高校生活のよい思い出の一つとなることを願っています。

裁判員制度について考える

―国際シンポジウムで学びを深める―

5月20日、白鷗大学法学部・法政策研究所主催の国際シンポジウム「裁判員制度は今年で17歳―若者と語ろう、司法における『市民参加』の意義―」に、パネラーとして特3の2荻野蛙花さん（館林四中）、特3の2齋藤芭奈さん（大泉西中）、特3の2齋藤優里さん（白鷗中）、特3の2三田小陽さん（坂西中）、特3の2山本知佳さん（太田城東中）、特2の3木島航さん（明和中）の6名が登壇しました。生徒たちは事前に裁判員制度について調べ、制度の目的や課題、自分たちなり



討論会の様子

の考えを整理したうえでシンポジウムに臨みました。

当日は、白鷗大学や台湾国立中央警察大学の教授による裁判員制度の現状や課題、台湾の「国民法官制度」についての講演がありました。また、弁護士や新聞記者、大学生を交えた討論会では「若者の意見は十分に反映されるのか」「裁判へのAI導入の可能性はあるのか」など、本校生徒も積極的



討論会で発言をする本校生徒たち

に質問や意見を述べました。シンポジウム終了後には、見学に来ていた本校生徒たちも専門家に直接質問し、熱心に話を聞く姿が見られました。今回の参加を通して、生徒たちは裁判員制度への理解を深めるとともに、司法と市民との関わりや社会の一員としての役割について考える機会を得ることができました。（以下関連記事あり）

第23回青少年英語スピーチコンテスト

6月28日、足利市で開催された第23回青少年英語スピーチコンテストに、進1の4板橋颯大さん（足利協和）が出場しました。このコンテストは、英語と日本



堂々と発表をする板橋さん

語の両方によるスピーチを通して審査が行われる大会です。英語スピーチでは、足利市の姉妹都市であるアメリカ・スプリングフィールド市にゆかりのある第16代大統領エイブラハム・リンカーンの演説を披露しました。歴史的な名演説について理解を深めるとともに、発音や抑揚、声の強弱、表現の工夫などを意識しながら練習を重ね、本番に臨みました。

また、日本語スピーチのテーマは「世界に伝えたい私の街の宝物」でした。本校が裁縫学校から始まったこと、新校舎の天井に設置されたオブジェから着想を得て、地域の伝統産業である足利銘仙の歴史と魅力、そして復興に向けた取り組みについて自身の考えを交えながら発表しました。

白鷗祭 2026

文化祭のテーマ
青春謳歌 ～今しかない輝き、ここに開幕～

進2の3 飛田 萌心奈さん（佐野西中）

8月28・29日、本校舎と新校舎を会場に白鷗祭が開催されました。校舎内では、各クラスが趣向を凝らした催し物を準備し、文化部は日頃の活動成果を発表しました。シーガル体育館では、書道部、合唱部、バントワリング部、ダンス同好会、演劇部によるパフォーマンスが行われ、マルベリー体育館では軽音楽部による演奏が披露されました。

総1の7設樂芽生さん（芳賀中）は、「仲間と協力して創り上げた白鷗祭は、とても思い出深いものになりました」と語ってくれました。今回で2回目となる両校舎同時開催の白鷗祭。生徒たちは仲間と協力しながら準備や運営に取り組み、充実した2日間を創り上げました。



オープニングセレモニー



ポスター制作
総3の6 小杉 和広さん（栃木東中）



Welcome to HAKUOH fes.



多彩なパフォーマンス・展示作品



白鷗大学だより

PLUS ULTRA — さらに向こうへ

国際シンポジウムを開催 — 裁判員制度を学ぶ —

5月20日、法学部および法政策研究所の共催による国際シンポジウム「裁判員制度は今年17歳」が、本キャンパス白鷗国際ホールで開催されました。

第一部では、本学法学部の平山真理教授と台湾国立中央警察大学の林裕順教授による講演が行われました。第二部では、両教授に加え、大阪弁護士会の西村健氏、朝日新聞編集委員の豊秀一氏、法学部の学生および白鷗大学足利高校の生徒が登壇し、「若者と語ろう、司法における『市民参加』の意義」をテーマに対話形式のセッション

を行いました。

裁判員選任の年齢が近づく高校3年生の生徒は「もし私が選ばれたとしたら、知識のある大人のグループの中で自分の意見を発言できるか不安」と話し、これに対し専門家は「さまざまな立場の人が



専門家と対話する高校生と大学生たち

女子バスケットボール部が新人インカレで初優勝

7月7〜12日、愛媛県松山市で開催された第4回全日本大学バスケットボール新人戦（新人インカレ）において、本学女子バスケットボール部が、初優勝に輝きました。

同大会は、各地区で行われた新人戦の上位校24チームが出場し、2年生以下の大学日本一を決める

全国大会です。関東1位として出場した同部はグループステージを突破し、その後のトーナメントでは、6日間での9試合を、9人の選手で戦い抜く激戦を制して、日本一の座をつかみました。

大会直前に、キャプテンが大けがを負うというアクシデントに見舞われ、9人のメンバーで戦わなければならぬ状況の中のスタートとなりましたが、試合を重ねるごとにチームの一体感と遂行力が高まり、勢いに乗って勝ち進むことができました。

昨年の優勝校・東京医療保健大学との決勝戦は、終始リードが入れ替わる大接戦となり、残り28秒で同点に迫いつかれる展開になりました。それでも粘り強く戦い、最後まで全員で守り切って勝利を収めました。



日本一に輝いた女子バスケットボール部

佐野市と包括連携協定 課題の解決へ連携強化地域

7月9日、佐野市との包括連携協定締結式が佐野市役所市長公室で執り行われました。今回の協定は、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある地域社会の形成

試合後に佐藤智信監督は「全試合を全員出場で優勝できたことは、価値あるものだと感じている」と喜びを語りました。

と発展に寄与することを目的とするもので、自治体との連携協定は、今回で6例目となります。

締結式には、佐野市から金子裕市長、飯塚久副市長らが出席。本



連携協定書を手にする
金子裕佐野市長(左)と
渡邊博記理事長(右)

学からは渡邊博記理事長、上岡條二副学長、地域連携センター長を務める岩崎忠教授らが出席し、協定書を取り交わしました。

佐野市とはこれまで、自治体行政を研究する法学部の岩崎忠ゼミが「佐野市の防災対策」や「子育て支援策」について提案を行うなど、さまざまな連携を重ねてきましたが、こうした取り組みをさらに充実・発展させていきます。

締結式で渡邊理事長は「双方の強みを生かし、地域が抱える課題の解決と活力ある地域社会の実現に向けて、連携して取り組んでいきたい」と挨拶しました。地域振興や人材育成、教育、産業・雇用福祉、環境など幅広い分野において相互に連携し、地域の発展に向けて取り組むことが期待されます。

PTAだより

あるがままでなく、あるべき姿に向かって



PTA会長
金井 洋一

秋の気配を感じるこの頃、1年生の皆さんも入学から5か月が経ち、学校生活にもすっかり慣れてきたことと思います。

振り返れば、この春、本校には例年にも増して多くの新入生を迎えることができました。これもひとえに、在校生・卒業生の日頃の活躍と、地域の皆様からの温かいご支援の賜物と、PTA会長

として深く感謝申し上げます。

新入生の皆さんは、それぞれの夢や目標を胸に、希望に満ちて本校の門をくぐられたことと思います。そして、その傍らには、我が子の新しい門出を見守り、本校でどのように成長していくのかを楽しみにされている保護者の皆様のお気持ちがあります。数ある学校の中から本校を選んでくださったこと、それ自体がお子様とご家庭にとって大きな決断であったと思います。お子様が今日この学校を選んだこと、そしてご家庭がそれを後押しされたことは、決して間

一日体験学習

8月2、3日の2日間にわたりキャンパスが一体化して3回目の一日体験学習が開催されました。本校舎には1194名、新校舎には777名の中学生と保護者が来校しました。

令和6年4月に新校舎が完成し、キャンパスの一体化に伴い、コースが再編され、普通科の4コースから進路希望に合わせて学べる3コース+Sクラスになりました。令和8年度から制服も両校舎で

統一され新しくなりました。

本校舎では、進学コースと総合進学コースの受験を希望する中学3年生を対象に募集をしました。新校舎では、特別進学コースの受験を希望する中学3年生を対象に募集をしました。

校長挨拶、

学校説明、入試説明の後、本校舎では11の模擬授業が開講され、新校舎では7の



学校説明の様子
(本校舎)

献血



違いではなかったと、これから始まる3年間の中で、きつと実感していただけのはずで。私たちPTAも、その歩みを精一杯サポートしてまいります。

至らぬ点も多い会長ではございますが、皆様のお力添えをいただきながら、今年度も精一杯努めてまいり所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

7月1日に2、3年生を対象に献血が実施されました。

2年生は多くの生徒が初めての献血でしたが、実施前の緊張した様子とは対照的に、終了後には「意外と痛くなかった」「また機会があれば協力したい」といった前向きな感想が多く聞かれました。



模擬授業の様子
(新校舎)

模擬授業が開講されました。開講された授業の内容も、それぞれのコースに対応した内容となりました。参加した中学生は、それぞれの校舎で熱心に講座を受けていました。来校された中学生や保護者からは、高校生活や本校に対する期待が感じられ、先生方も気の引き締まる思いでした。

3年生は3回目と毎回協力してくれる生徒も多く、「社会貢献になるから」といった思いから、積極的に協力する姿が見られ、継続的に献血へ参加しようとする意識の高まりも感じられました。



献血の様子

今回の献血では、生徒と教職員合わせて120名が協力してくれました。

12月8日に2回目の献血が実施されます。多くの生徒のご協力をお待ちしております。

部活動壮行会

選手活躍にエールを送る

7月16日、シイガル体育館に全校生徒が集まり、関東大会に出場する水泳部と、インターハイに出場する柔道部・女子ソフトテニス部・陸上競技部・ボクシング部・体操部・剣道部、全国総合文化祭に出場するバトントワリング部の壮行会が行われました。それぞれ



壮行会で壇上に立つ剣道部女子

の部活動で、顧問の先生方からの選手紹介の後、主将による抱負が述べられ、在校生から大きな拍手を受けました。その後、水泳部が6名のインターハイ出場を決め、総勢51名がインターハイ出場となりました。

編集後記



スマートフォンやSNSは、私たちの生活を便利で豊かなものにしてくれる存在です。その一方で、SNSの利用に起因するトラブルが現実の人間関係に影響を及ぼすこともあります。また、スマートフォンやSNSを使いすぎることで、周囲とのコミュニケーションの機会が減ったり、自分自身と向き合う時間がなくなったりすることもあるでしょう。人は様々な人との対話を通して新たな考え方に触れ、自分自身を見つめ直すことで成長していきます。だからこそ、情報を受け取るだけでなく、考えたり語り合ったりする時間も大切です。時にはスマートフォンを置き、隣にいる人との会話や、自分自身を見つめ直す時間を大切にしてみてはいかがでしょうか。

※お忙しい中、原稿・写真等のご協力ありがとうございました。
編集・校報委員会
発行・白鷗大学足利高等学校
足利市伊勢南町3の2
0284-41-0890
発行日・令和8年9月30日